

なぴあ

NAGASAKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL 94
2017.3



2017年1月14日(土)～15日(日)開催 フェアトレードマーケット ～買い物でできる国際協力～

Contents

- 事業報告
 - ・作ろう！日本のお正月～ORIGAMI 折り紙…………… 2
 - ・フェアトレードマーケット～買い物でできる国際協力～…………… 2
 - ・カレンダー市 2017 ～あなたもできる国際協力～…………… 3
 - ・外国人との接し方セミナー ～in 対馬市・松浦市・諫早市～…………… 4
 - ・長崎の工芸文化体験講座レポート…………… 4
 - ・2016年度長崎県海外技術研修員受け入れ事業…………… 5
- 協会からのお知らせ
 - ・第9回～語り合おう in Nagasaki～
外国人による日本語弁論大会出場者募集！…………… 6
 - ・協会のホームページをご活用ください！…………… 6
 - ・知っておこう！災害が起こるその前に！！…………… 6
 - ・病院に行く時につかう本…………… 6
- 世界でキラリ☆青年海外協力隊
 - ・世界最幸の国◆フィジーで出会った「ケレケレ文化」…………… 7
- 協会から助成についてのお知らせ…………… 8

私たちは賛助会員として協会を応援しています

- ・安達株式会社
- ・株式会社池田設計
- ・ヤナセ産業株式会社
- ・学校法人第二岩永学園
- ・株式会社プロジェクトエム
- ・佐世保厦門市青少年交流協会
- ・長崎空港ビルディング株式会社
- ・扇精光ホールディングス株式会社
- こころ美健福祉専門学校



公益財団法人 長崎県国際交流協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931

095-823-3929

FAX 095-822-1551

Eメール nia@nia.or.jp

http://www.nia.or.jp

事業報告

作ろう!～日本のお正月～ ORIGAMI 折り紙

2016年12月10日(土)、県内在住の外国人の皆様を対象に、折り紙アーティストの宮本眞理子先生を講師に迎え、日本の文化に触れてもらうことを目的とした日本文化体験教室「作ろう!～日本のお正月～ ORIGAMI 折り紙」を開催しました。ブラジル、中国、インド、韓国、タイ、ベトナムなど、県内在住の留学生など外国人総勢 25 名が参加し、折り紙でお正月飾りを作りました。

過去に折り紙を体験したことがある参加者は多くいましたが、今回は 1 枚の紙から繋がった鶴と扇を作るという、少し難しい作品でしたので、参加者の皆さんは、先生に聞いたり、お互いに教え合いながら折り進めていました。鶴と扇を折り終えたら、色紙に貼って、立派なお正月飾りの完成です。皆さん、完成した作品を前に満足気な表情で、たくさん写真に収めていました。

このイベントを通して、参加者同士の新たな友情も芽生えたようで、今後さらに長崎での生活が豊かになることと思います！



完 成 品



真剣に説明を聞く参加者



協力しながら完成を目指します



作品を持って記念の1枚!

フェアトレードマーケット ～買い物でできる国際協力～

2017年1月14日(土)～15日(日)に開催したこのイベントは、今年で4年目を迎え、387名の来場客で賑わいました。昨年に引き続き「フェアトレード」という言葉と、買い物でできる国際協力があることを知っていただくための有意義なイベントになりました。今年は、同時開催(1月14日)のJICAデスク長崎によるワークショップ「コーヒーカップの向こう側」も盛り上がり、年齢性別もバラバラの参加者は、楽しく「フェアトレード」について学ぶことができたようでした。

今年の出展者は、^{ブラウマイ}prawmai(長崎市出島町10-3-1F)、自家製天然酵母と焼菓子の店ちびころ(長崎市高平町2-2)、^{チャリタフルトレード}Charitable Trade(長与町嬉里郷763)、^{ネステップ}NESTEP(店舗なし)の4団体、うち2団体が初出店という顔ぶれでした。タイやインドなどの手仕事の製品、チョコレート、コーヒー、キャンディー、砂糖やこれらを材料としたパンやお菓子など、様々な種類のフェアトレード商品が販売されました。これらを購入することが、開発途上国の支援に繋がります。



ワークショップの様子



出展者とのやり取りも買い物の楽しみ



美味しいパンやお菓子が並びます

「フェアトレード」ってなんだろう？

開発途上国の生産者や労働者の生活・労働環境の改善、自立を目指す公平な貿易のことです。私たちが日常生活でフェアトレードの商品を選ぶことが、継続的なサポートにつながります。

事業報告

△▼カレンダー市 2017 ～あなたもできる国際協力～△▼

2017年1月14日(土)～15日(日)に、「カレンダー市2017 ～あなたもできる国際協力～」を、学生国際 NGO BOAT 主催、当協会共催で開催しました。このイベントは、様々な団体・企業等の皆様から無償で提供していただいたカレンダーや手帳を低価格で販売し、収益金を開発途上国の支援に役立てていただこうと、実施しているものです。今年のカレンダー市について、主催の学生国際 NGO BOAT の谷川さんがご報告します。

カレンダー市2017 ～あなたもできる国際協力～

学生国際 NGO BOAT カレンダー市担当 谷川 ゆり

この度は、国際協力イベント「カレンダー市2017 ～あなたもできる国際協力～」にご協力いただき誠にありがとうございました。

私たち、学生国際 NGO BOAT は、2004年のカンボジア災害支援をきっかけに設立され、被災地支援や開発途上国への支援をしています。また、私たちの活動を知ってもらうために出張授業も行っています。

この「カレンダー市」は、様々な企業・団体等の皆様からカレンダーや手帳を寄付いただき、安価で販売するイベントで、その収益金はラオスなどの支援先に寄付しています。今回で開催は11回目を数え、毎年恒例の国際協力イベントとなっています。

会場ではカレンダーと手帳を100円から500円で販売させていただきました。シンプルな無地のカレンダーや、華やかな絵や写真付きのカレンダー、機能的な手帳など、多種多様なカレンダー・手帳を様々な企業・団体等の皆様から寄贈いただいたおかげで、来場者の方々もじっくり楽しみながら選ばれ、購入されていました。

今年も非常に寒い日の開催となりましたが、例年通り多くの方々にご来場いただき、総来場者数294名、総売上金額 133,000円と盛況のうちに終了いたしました。

イベント開催の約1か月前から多くの問い合わせをいただき、イベント初日には開場を待つ行列がで

きていました。来場者の中には、カレンダーを何点も購入される方や、特定の絵や写真入りのカレンダーに絞って購入される方、毎年「カレンダー市」を楽しみにされている方が多くいらっしゃいました。

今回の売上金は、「特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー J A P A N」を通じ、ラオスで働く看護師の教育費として寄付させていただきます。具体的には、ラオスで働く看護師2名を約2週間タイのバンコクへ派遣し、新生児ケア技術の習得を目的とした研修の機会を提供するための費用として使用されます。

私たち学生国際 NGO BOAT は、昨年2016年9月にラオスの「公益社団法人シャンティ国際ボランティア会」を訪問させていただきました。そこで、ラオスの教育問題を目の当たりにし、今後もラオスへの支援を継続したいと強く思いました。私たちはこれからも積極的に活動を続けていきますが、その内容については、学生国際 NGO BOAT のホームページにて、随時報告していきますので、是非ご覧ください。

(URL : <http://ngoboat.jimdo.com/>)

今回ご協力いただきました企業・団体等の皆様をはじめ、イベントにお越しく下さいました方には、厚くお礼申し上げます。今後とも私たち学生国際 NGO BOAT を何卒よろしくお願いいたします。



学生国際 NGO BOAT のメンバー



当日の様子



ラオスでの視察 (2016年9月)

事業報告

外国人との接し方セミナー ～ in 対馬市・松浦市・諫早市～

対馬市



諫早市



当協会ではこれまで、県民と地域在住外国人との国際交流の促進、さらに近年増加傾向にある外国人観光客のおもてなし、外国人受け入れによる地域活性化など、様々な方面からの外国人との交流の仕方について、セミナーを開催してきました。

3年目の今回は、NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会から志渡澤祥宏先生を講師に迎え、対馬市（2016年9月7日）・松浦市（2016年11月7日）・諫早市（2017年1月23日）の3市で開催しました。各会場とも、その地域にあった内容と志渡澤先生の軽快な関西弁で、明るく楽しいセミナーになりました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました！

松浦市



講師 志渡澤 祥宏先生

おもてなしin対馬



長崎県海外技術研修員
ニュンさんの

長崎の工芸文化体験講座レポート

三川内焼美術館にて



歴史的な窯場を見学



2017年2月18日に開催された、長崎県及び長崎留学生支援センター主催の長崎の工芸文化体験講座に、県内の外国人留学生をはじめとした在住外国人の皆さんと一緒に参加してきました！今回のイベントは、佐世保市三川内地区での三川内焼の勉強と絵付け体験です。

まず、三川内焼美術館では三川内焼の歴史を学び、その歴史を受け継ぐ個性豊かな現代三川内焼の秀作の数々を見学しました。

そして、絵付け体験では最初に絵を鉛筆で下書きし、専用の筆を使って色をつけていくのですが、皿やマグカップの曲面に絵を描いたり、色をつける作業は難しく、私も他の参加者も皆、気づいたら作業に集中しすぎて無言になっていました。

今回、三川内焼の歴史や職人の技に触れて、三川内焼きの魅力を知ることができました。絵付けした作品が手元に届くのは、約1か月後の予定ですが、完成が今からとても楽しみです！ベトナムに帰ったら、今回の作品とともに三川内焼のことを皆に教えてあげようと思います！

完成を想像しながら



完成が楽しみです！



事業報告

△▼ 2016 年度長崎県海外技術研修員受け入れ事業△▼

長崎県では、長崎県と密接な関係がある国から前途有為な青年を研修員として招き、研修員が長崎県の経済、社会、文化等を学び、必要な技術を習得しながら派遣国の発展に寄与する人材を育成するとともに、研修員と県民が交流することにより、派遣国との友好親善及び経済交流の促進を図ることを目的として、この事業を実施しています。

今年度、当協会ではベトナムから派遣された研修員 1 名を受け入れ、2016年9月14日(水)～2017年2月28日(火)までの期間、協会の業務を経験していただきました。今回は、研修を無事に終えたニユンさんからの最後のご報告とごあいさつです。

シン・チャオ (Xin chào・こんにちは)、お久しぶりです。皆さんお元気ですか。前回の「なびあ93号」でご挨拶させていただきましたが、私のことを覚えていますか？ベトナムから来ました、グイン・ティ・カム・ニユンです。この2月28日(火)で6か月間の協会での研修が無事に終了しました。私にとって、協会での研修期間は濃密な時間でした。そこで、今回の「なびあ94号」では、自分を成長させてくれた研修の内容を皆さんにご報告したいと思います。

協会では、昨年10月に開催された「ながさき国際協力・交流フェスティバル」を始め、国際理解講座など様々な事業に携わりました。どんなイベントや講座でも、日本人・外国人にかかわらず、県民の皆さんに喜んでいただくためにはどうしたらいいか？という視点から、内容を計画していくことの大切さや、実際の運営について学ぶことができました。

「ながさき国際協力・交流フェスティバル」では、インフォメーションを担当しましたが、県民の皆さんが楽しんでいる姿を見るのはとても嬉しかったです。

次に、長崎の歴史や文化を調べることで長崎に対する理解を深めることもできました。かつて長崎は日本で唯一の「国際都市」とも言われていましたが、実は、ベトナムとも古くから繋がりがありました。毎年10月に長崎市で開催される「長崎くんち」での御朱印船の舞(本石灰町)は、長崎出身の荒木宗太郎とベトナム出身のアニオー姫の結婚が由来となってきたものなのです。皆さん知っていましたか？

そして、県内視察では、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、雲仙市などを訪れ、各地の名物を味わいながら、自然あふ



れる風景の美しさや、人の優しさを体いっぱいに感じました。特に、下五島(五島市)の高浜ビーチの視察に行ったとき、

澄みきった美しい色の海を見て、言葉で表せないほど感動しました。また、港でフェリーの到着を出迎えてくれたり、オススメのお店を紹介してくれたり、島民の方の優しさに触れ、帰りたくない気持ちになりました。

何より、協会の皆さんと仲良くなり、毎日と一緒に楽しく過ごすことができました。慣れない業務に疲れてしまうこともありましたが、協会の皆さんがいつも優しく接してくださったので、最後まで頑張ることができました。他にも、長崎でたくさんの出会いがありました。講座で出会った講師の方や、訪れた地域で出会った県民の皆さん、イベントで出会った留学生など、これらの出会いは私に色々な影響を与えてくれました。一生忘れることのできない「友達」です。

残念ながら研修期間が終了し、私は3月3日(金)に帰国します。皆さんが、この「なびあ94号」を読む頃には、私はベトナムに戻っています。これから、もとの仕事に戻りますが、長崎での研修を思い返しながら、元気を出して頑張ります。そして、研修で学んだことをベトナムで生かすために尽力します！

最後に、私は「長崎に戻ってくるばい！」と心に誓います！皆さん、また必ず長崎でお会いしましょう！今までありがとうございました。



協会からのお知らせ

第9回～語り合おう in Nagasaki ～ 外国人による日本語弁論大会 出場者募集！

Contestants Wanted for Japanese Speech Contest for Non-Native Speakers

応募締切：2017年5月8日(月) 最優秀賞 賞金5万円

【開催日時】 2017年6月17日(土) 13:30～16:00

【会 場】 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジ
(長崎市平野町7-8)

【主 催】 外国人による日本語弁論大会実行委員会
(公財)長崎平和推進協会／(公財)長崎県国際交流協会

【問合せ先】 (公財)長崎県国際交流協会 長崎市出島町2-11
TEL 095-823-3931
Eメール nia@nia.or.jp



昨年の日本語弁論大会

出場資格：原則として、次のすべての条件を満たす長崎県在住の高校生以上の外国人の方

①母語が日本語以外であること ②小・中学校において日本語での教育を受けていないこと

協会のホームページをご活用ください！

昨年4月にリニューアルした当協会のホームページですが、今までになかった新しい機能『イベント・講座情報の掲載機能』を追加しています。この機能は、県内の国際交流・国際協力団体の皆さんがご利用いただけるものです！団体の皆さんに、団体主催の各種イベントや講座の情報を協会ホームページに掲載いただくことで、広くその情報を発信することができます。この新しい機能をご活用いただくことで、県内の国際交流がより盛んになっていけばと思っています。情報の掲載には、事前に団体の登録をしていただく必要がありますので、まずは、皆さんのご登録をお待ちしております！

※ 詳細はホームページのこのボタンからご確認いただけます。

県内の国際交流団体などの
イベント・講座



「知っておこう！災害が起こるその前に!!!」 「病院に行く時につかう本」を無料配布しています！

昨年改訂したこの2冊は、県内に住む外国人の方向けに作成したマニュアルです。災害発生時や、病院に行くときの“困った”を解決するための方法を、英語・中国語・韓国語・かんたんな日本語で掲載しています。長崎に住む外国人の方が、安心して生活を送ることができるようこのマニュアルをお役立ていただきたいと思います！

※ 当協会ホームページにも掲載しています。

※ 無料配布(100部単位可)していますので、配布を希望される法人・団体等の皆様はご連絡ください。

世界でキラリ ★ 青年海外協力隊

世界最幸の国◆フィジーで
出会った「ケレケレ文化」

城 秋桜（じょう こすも）さん
(2011(平成23)年度2次隊・フィジー・小学校教諭)

世界中で活動するJICAボランティア。2011年9月から2年間、フィジー共和国のラウトカ教育事務所に配属され、子供たちへの体育指導や教員向けワークショップ・指導書作成等を行った城さんにお話をお聞きしました！



フィジー共和国はオセアニアの国家でイギリス連邦加盟国です。南太平洋のフィジー諸島と北に500km程離れた保護領のロツマ島、300余の火山島と珊瑚礁からなる島国です。首都はビティレブ島のスバ。
(地図画像は外務省HPより)



先日、世界幸福度報告2017の結果がニュースになっていました。そのランキングで堂々1位に輝いたのがフィジー共和国です。「お金」や便利な「モノ」があふれる生活環境が、幸せの条件ではないということを、このランキングは表していると思います。「客観的に」見て本当に幸せなのかと考えると様々な意見があるようですが、私はこの国で生活してみて、「主観的に」ならば確かに世界一幸せと言えるのかもしれないと感じます。

フィジーの国民性そして「幸福感」を理解するうえで、キーワードとなるのが「シェア文化」そして「ケレケレ文化」です。フィジーの人達はなんでも「シェア」します。学校のランチタイムには各々が持参したランチを中央に寄せて置き、皆が自由に手を伸ばし、好きなものを好きなだけ食べます。「それ俺のだぞ」とか「自分の分を食べてよ」とか、そんなやりとりはありません。また、フィジーで生活をしていると、貸したボールペンが返ってこないなんてことも日常茶飯事です。「自分の持ち物は、みんなのもの」そういう感覚なので、物への執着が少なく、おらかな気持ちで日々を過ごせるのかもしれない。

日常の中で「ケレケレ」という言葉をよく聞きます。ケレケレとは、「ちょうだい」とか「お願い」という意味です。お金がなくなったら「ケレケレ」、おなかがすいたら「ケレケレ」、「ちょっと貸して」も「ケレケレ」。困ったらとりあえず「ケレケレ〜」と言っておけば、必ず誰かが助けてくれます。日本の常識からすると、「お金貸して」なんてよほど困ったときに、よほど親しい関係の人にしか言えないし、そう簡単には貸さないのが普通ですが、フィジーでは持ち合わせさえあれば割と簡単に貸してくれます。見ているこちらとしては「ちゃんと返ってくるのかな？」と心配になるのですが、きっと貸した方もお金がなくなったら誰かに「ケレケレ」と言えば助けてもらえるという安心感があるのでしょう。そうして現地の社会が回っているのかなと思うと、フィジーの人々がいつも笑顔でいられるわけが何となく理解できたような気がしました。

赴任当初はこのフィジーの人々のおらかなさとのんびり具合がなかなか理解できず、時間や約束を守らないことにイライラしたり、自分の価値観を押し付けようとして人間関係がぎくしゃくし活動がうまくいかないということもありました。でもフィジーの人々は、本当に明るく、根にもたないのです。翌日には「ブラ（こんにちは）、コスモ〜！」と笑顔を向けてくれ、おかげで私も気持ちを切り替え、活動を頑張ることができました。「協力隊」として派遣されたはずが、どちらかという私の方が助けてもらうことが多かったように思います。2年間のフィジー生活の中で、世界には様々な価値観があるということ、幸せの基準も様々だということに気づくことができ、自分自身の生き方や考え方を見つめ直すとても良い機会となりました。



小学校での体育の授業の様子



昼食後はみんなで歯磨きタイム！



笑顔で裏向きピースがフィジー流♪



青空に映える真っ白なフランジパニ

協会から助成についてのお知らせ

国際交流応援プロジェクト ～3つのサポート～

募集期間 2017年4月～6月（予定）

1 国際交流スタート支援 ～あなたの初めての国際交流を応援！～

- ・企画・運営などをサポートします。
- ・上限10万円で実施経費の一部を助成します。
- ※ 対象となる経費が決まっています。

一緒に最初の一步を
踏み出しませんか？



スポーツ交流



初めての国際交流

2 中国・韓国との交流支援 ～上海市または釜山広域市の民間団体との交流を応援！～

- ・上海市、釜山広域市で《出会いの場》を設け、交流相手の団体を紹介します。
- ※ 《出会いの場》の会場や通訳は、協会が用意します。
- ※ 参加にかかる費用（渡航費・宿泊費・飲食費など）は自己負担です。

新たな交流を
探しに行きませんか？



異文化交流

募集期間 当協会のホームページ（<http://www.nia.or.jp/>）でご確認ください。

3 草の根国際交流支援 ～国際交流事業を行っているあなたを応援！～

- ・上限10万円で対象経費（講師などの謝礼、交通費、会場使用料など）の1/2以内を助成します。

未長い交流をしませんか？



スポーツ交流



華道で文化交流

東アジア相互交流促進事業

募集期間 2017年4月～6月（予定）

日本・中国・韓国の相互交流支援 ～3カ国での交流を応援！～

- ・対象経費について、1事業45万円以内を助成します。
- ・対象経費は中国及び韓国からの参加者の県内における宿泊費用です。
- ※ 1人当たり1泊の費用は、朝食代を含む1万5千円が上限です。

交流の方法は様々！
スポーツ・文化・芸術など

※上記プロジェクト及び事業は、長崎県の平成29年度予算の成立が前提となり、予算の成立状況によっては事業内容や実施時期等に変更が生じる可能性がありますので、ご注意ください。

お問合せ先：（公財）長崎県国際交流協会

【TEL】095-823-3931 【E-mail】nia@nia.or.jp 【HP】<http://www.nia.or.jp>